

## 茨城農業振興地域整備計画の総合見直しのお知らせ

### 農業振興地域整備計画について

『茨城農業振興地域整備計画』は、「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、農業を振興すべき地域の指定と当該地域の農業的整備のための施策の計画的推進を図ることを目的に定めた計画です。前回の総合見直し（平成21年度）から7年が経過しており、町を取り巻く情勢の変化等による農業振興の方向性を再検討するため、平成29年度に総合見直しを行います。

### 農用地区域の除外申請等の受付休止について

農業振興地域のうち『農用地区域』に指定されている農地は、原則的に他の用途として利用することができません。ただし、やむを得ない理由が生じ、一定の要件をすべて満たす場合に限り、農用地区域から除外することができます。

通常、農用地区域からの除外等の申請受付は年2回（4月と10月）行っていますが、平成29年度は総合見直しに伴う事務手続きにより、4月の1回のみの受付となります。

#### ◇平成29年度の農用地区域からの除外等の申請受付期間

平成29年4月3日から4月28日まで（1回のみ/年）

※農用地区域からの除外または農用地区域への編入を検討されている方は、平成29年4月申請に向けてご準備ください。（平成30年度の受付は、総合見直し完了後〔平成30年4月予定〕となります）

【問合せ先】 農業政策課 振興グループ ☎029-240-7118（直通）

### 「たけのこ」の出荷制限の解除について

茨城町産の「たけのこ」は、平成24年4月13日に国から出荷制限が指示されていましたが、今年度町内全域を対象に実施した、たけのこの放射性物質検査の結果、安定して基準値を下回ったことから、平成28年9月21日付けで出荷制限が解除されました。

今後、たけのこの出荷販売については、左記の出荷前検査が必須となります。

- (1) 生産者からの検体の提出
  - (2) 町での事前検査
  - (3) 県によるモニタリング検査
- ※一週間程度時間がかかります。

町の事前検査及び県によるモニタリング検査により基準値を下回った場合に限り、町で作成する生産者台帳へ登録の上、たけのこの出荷が可能となります。

基準値を超えるたけのこが流通することがないよう、生産者の皆様には出荷前検査への取組みをお願いします。

詳細は町のホームページ上に掲載していますので、ご確認ください。

【問合せ先】農業政策課 振興グループ  
☎029（240）7118（直通）

## 認知症対応型介護保険施設



自然豊かな潤沼の湖畔で、ふれあいがあり、温もりがある介護サービスを提供いたします

随入  
居者募集  
随時見学可

豊かな緑に包まれた環境で、安心と安らぎのある介護サービスを提供いたします



グループホーム ひぬま

茨城町中石崎 159-1 ☎029-240-8117（担当 小柴）

グループホーム ひぬまの杜

茨城町中石崎 1055 ☎029-240-8321（担当 久保田）

## みんなで学ぼう！ 農業体験

町内の各小・中学校では、地域の農家の方からの指導のもと、農作物を育て収穫し、食べることの喜びや農作物を育てる大切さを学ぶ農業体験を行っています。貴重な体験をした児童や生徒たちはなにを感じたのでしょうか。感想を紹介します。

### 貴重な体験だった米づくり

葵小学校  
五年一組 照沼 さくら



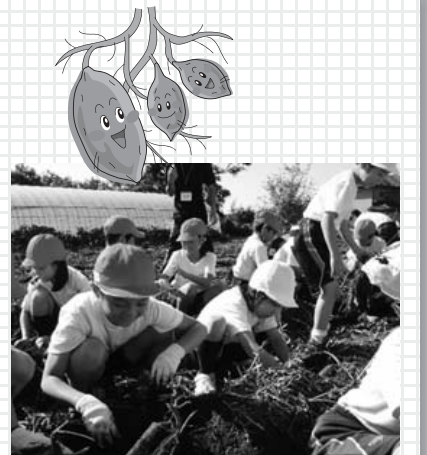
五月初旬、私達はバケツ稲を育てることになりました。稲はまるで子どものようにぐんぐんと育ちました。夏休み中は、当番制で水をあげました。中には1mを超える稲に育った友達もいました。

十月には、ブライトリダーの方の水田をお借りして、稲刈り体験をしました。作業中はずっと低い姿勢でしたので、足がとても痛くなりました。その作業の大変さを学び、農家の方々は毎年たくさんのお米を重ねておいしいお米を作ってくれているんだと、ありがたみを感じました。

これからも、ご飯を食べる時は感謝をして、残さずきちんと食べたいです。

### おおきなおいも

青葉小学校  
二年一組 小沼 宗介



ぼくは、学校のはたけでさつまいもほりをしました。

「小さいかな。大きいかな。」とわくわくしながら、楽しみにしていました。土をどんどん下へほっていきましした。一本目のさつまいもは、大きくてうれしくなりました。一本目は、もっと大きくて大きくてびっくりしました。いもほりは、たからさがしみたいでおもしろかったです。

ほったさつまいもをもって帰ると、お母さんが大学いもにすりつぶしてくれました。家ぞくみんなで食べました。みんな、「あーん。あーん。」と喜んでいました。ぼくも、ほくほくしてとてもおいしいと思いました。来年も、おいしいさつまいもをほって、いもほりをしてみたいです。

### 農業体験学習を終えて

青葉中学校  
一年三組 小橋 未来



私たちは、農業体験の一環として、サツマイモ栽培を行いました。草取りから始まり、土の耕し、マルチ張り、苗植え・収穫の作業がありました。実際に作業を体験してみても、土の整備から収穫までのすべての工程を、農家の人は自分でやっていると思うと、とても大変な作業なのだと思います。

草はたくさんあり、夏場は除草作業をしても、次から次へと生えてきます。マルチ張りや苗植えでは、苗が風で飛ばされないように、気を付けながら作業を進めました。収穫では思ったより多くのサツマイモが収穫でき、びっくりしました。最後の片付けまでの作業は非常に大変でした。

小さなサツマイモにも、育てた人の思いがこもっていると思います。感謝の気持ちをもって、食べたいと思います。